

都市再生整備計画 事後評価シート

阿見中央地区

令和6年11月

茨城県稲敷郡阿見町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	稲敷郡阿見町		地区名	阿見中央地区			面積		259ha		
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	830	国費率	0.388					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名										
			・町道3014号線改築・曙ふれあい公園整備 ・富士団地汚水管流下能力機能向上・調整池整備										
		提案事業	・地区公民館防災機能向上・防犯灯設置・中央8丁目水路流下能力機能向上 ・富士団地汚水管流下能力機能向上・公園ワークショップ実施										
	当初計画から新たに追加した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	—			—			—				
		基幹事業	—			—			—				
	交付期間の変更	当初	平成31年度～平成35年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
変更		令和元年度(平成31年度)～令和5年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	居住世帯の増加	世帯	5,119	H30年度	5,519	R5年度	モニタリング	評価値	○	あり	・曙ふれあい公園の整備、調整池及び下水道施設の整備・機能更新により、当地区のまちづくりの課題を解消し、居住環境が向上したことから、居住世帯の増加に間接的に貢献の一助となったと考えられる。	-
											なし		
	指標2	冠水エリア面積の縮小(1/3降雨量)	ha	2	H30年度	0	R5年度		0	○	あり	・調整池整備、水路及び雨水管の流下能力機能向上により地区の雨水処理能力が向上し冠水被害が見られなくなり、冠水エリア面積の縮小に貢献した。また、地区の安全・安心の向上にも寄与した。	-
											なし		
	指標3	公園利用者の増加	人/年	0	H30年度	8,580	R5年度		12,740	○	あり	・公園ワークショップの実施により、地域住民のニーズを踏まえ、住民満足度の高い公園が整備できた。多様な世代の遊び場や運動の場等として利用されており、地域の賑わいやコミュニティ形成の素地づくりを図れた。	-
											なし		
	指標4	居住誘導区域の世帯数	世帯	5,119	H30年度	5,519	R5年度		5,768	○	あり	・事業により、地区の発災時の安全・安心や平時の安全・安心の向上に貢献した。事業による地区の安全・安心の向上により、居住誘導区域内の世帯の増加に間接的なながら貢献の一助となったと考えられる。	-
なし													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	地区の安全・安心の変化	%	-	-			モニタリング	58.0			・住民アンケート回答者の過半が事業により地区の安全・安心が以前に比べて良くなっている・若干良くなっていると回答しており、地区の安全・安心な生活環境の確保により、人口定着及び地区の活性化の一助になったと考えられる。	-
その他の数値指標2	地区の住環境向上による満足度	%	-	-				53.9			・住民アンケート回答者の過半が、事業により、以前に比べて地区の住環境に満足・若干満足と回答しており、地区の住環境の向上に貢献できたと考えられ、住民の住環境向上による満足度の高まりにより、地区の人口定着の一助となっていると考えられる。	-	
4)定性的な効果発現状況	・住民アンケートにて「コロナもおさまり、落ち着き、皆さんが集い、語り合える街になりました。」との意見も挙げられており、以前よりも人が集まり、コミュニケーションが出来る機会の増加の一端を事業により担っていると考えられる。 ・曙ふれあい公園では、幅広い年代の住民、特に小中学生が遊び場や学習の場として利用・滞留していることから、コミュニティ形成の素地が出来たと考えられる。 ・住民アンケートにて「水路の改修がとても良い。他の箇所についても水路改修計画はないのか。」と好意的、かつ更なる事業を望む意見があり、安全・安心度の向上に対する評価が発現したと考えられる。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-		
	官民連携による取組	地域ニーズに則した公園を整備するため、令和3～4年度に計4回の住民ワークショップを実施。必要な施設及び公園利用方法、施設の配置、公園名等について検討、公園計画に反映した。また、意見交換した維持管理方法に基づき、公園里親制度を活用し、住民による維持管理が実現した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	住民による維持管理活動の継続に係る協力・支援		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築		曙ふれあい公園での公園里親制度の活用による住民主体の維持管理活動(空き缶・ゴミ収集、清掃活動、除草の実施(年4回))が実施されている。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	継続実施に係る協力・支援		

